

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年8月27日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0172901902		
法人名	有限会社 ころ		
事業所名	グループホーム ころ		
所在地	北海道旭川市亀吉2条2丁目3番地の5 (電話) 0166-29-1127		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成20年8月27日	評価確定日	平成20年9月10日

## 【情報提供票より】(平成20年7月15日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)16年10月12日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	20 人	常勤	11人, 非常勤 9人, 常勤換算 15.1人

### (2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	2階建ての	~ 1階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,000 円	その他の経費(月額)	12,900~18,900 円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	450 円	昼食	450 円
	夕食	450 円	おやつ	0 円
	または1日当たり		円	

### (4) 利用者の概要(7月15日現在)

利用者人数	18 名	男性	7 名	女性	11 名
要介護1	1 名	要介護2	3 名		
要介護3	6 名	要介護4	5 名		
要介護5	2 名	要支援2	1 名		
年齢	平均 80 歳	最低	60 歳	最高	95 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	にしきまち通りCL クリア歯科CL
---------	-------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

木造作りの1階部分がグループホームで2階には、訪問看護ステーションと障害児デイサービスが併設され利用者と児童との交流が行われています。敷地内にある東屋では外気浴を楽しんだり、茄子やキュウリ、ひまわりが栽培される畑では利用者の思いや趣味などを活かせる場の工夫もされています。地元の人々との交流も盛んに行われ、今年で3回目を迎える「ころ祭」には、近隣住民や町内会役員、地域のボランティア、往診の医師・看護師、利用者、家族が参加して町内会行事のひとつとして参加されています。また、管理者・職員は穏やかで、チームワークも良く、家族との信頼関係も保たれている様子が伺えました。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、緊急時に地域の人達との協力が得られるような取り組みについて挙げられていましたが、「ころ祭」や清掃など町内会行事参加などで日ごろより協力が得られるような交流や町内会や民生委員と協力して検討が進められています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 管理者及び職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を良く理解しています。自己評価については、全ての職員が参加して実施され具体的な改善点を見出し、ケアサービスの質の向上に利用されています。また、外部評価の結果については、周知して改善に活かされています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、本年度2回開催されています。議題は、日常生活状況、ケア理念について 認知症について近隣住民の理解への感謝について 「ころ祭」開催について ボランティア参加について 地域との連携について など
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 運営推進会議での意見交換や来訪時に不安への対応、健康状態について話し合われています。また、状況変化についても都度、電話連絡など行われています。玄関入り口に意見箱が設置され苦情等表せる機会や第三者の苦情申立機関の連絡先が掲示されています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 町内会加入で、ラジオ体操や清掃活動、盆踊りなどへの行事の参加や近隣住民や地域のボランティア、町内会役員が参加するホーム主催の「ころ祭」を通じて地元の人々との交流が促進されています。また、定期的に発行される「ころ通信」を町内会に配布して、認知症に対する理解や広報に取り組んでいます。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えるサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげ、社会状況の変化や利用者の状態変化に応じて見直しが行われている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者・職員は、朝礼時のミーティングでの話し合いやネームプレートに記載して常時携帯して、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。		特筆すべき点として、理念達成のために職員の個人目標を明確にして、その達成度についてフォローアップされている。
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会加入で、ラジオ体操や清掃活動、盆踊りなどへの行事の参加や近隣住民や地域のボランティア、町内会役員が参加するホーム主催の「ころ祭」を通じて地元の人々との交流が促進されている。また、定期的に発行される「ころ通信」を町内会に配布して、認知症に対する理解や広報に取り組んでいる。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者及び職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を良く理解している。自己評価については、全ての職員が参加して実施され具体的な改善点を見出し、ケアサービスの質の向上に利用されている。また、外部評価の結果については、周知して改善に活かされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、本年度 評価日現在2回開催されています。委員は、利用者、家族、町内会役員、地域の住民、民生委員、他施設の知見を有する専門員、管理者・職員が参加して具体的に取組まれている。</p>		<p>今後は、二ヶ月に一度定期的で開催されていくことを期待いたします。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>事業所は、市や包括支援センターとの連携の重要性を良く理解している。また、消防署の協力を得て救急救命や火災避難訓練や警察の交通安全講習の実施など取り組んでいる。</p>		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>定期的に発行する「ころ通信」で利用者の健康状態や生活の様子など情報提供されている。また、状態変化についても都度電話連絡などで詳細に報告している。金銭出納に関しても毎月報告されている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議での意見交換や来訪時に不安への対応、健康状態について話し合われている。また、状況変化についても都度、電話連絡など行われています。玄関入り口に意見箱が設置され苦情等表せる機会や第三者の苦情申立機関の連絡先が掲示されている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員間の情報伝達やコミュニケーションは良く、利用者と家族のように接している。また、離職率は低く職員の異動などでも利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修計画を明確にし、北海道や旭川市、医療法人などが主催する研修会参加やグループホーム連絡協議会、ケア研究会主催の外部研修参加を奨励している。また、職場内での研修の機会やOJTも実施され、段階に応じた研修も充実している。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域の同業者の見学や交流、グループホーム連絡協議会やケア研究会を通じて他施設との交流が行われている。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人が安心して、納得した上でサービスが利用できるように入居前には、利用者・家族との話し合いや見学などで場の雰囲気に馴染めるよう相談しながら工夫している。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は、利用者と一緒に料理や畑作業、花の手入れなど本人から学んだり、利用者の気持ちになった支えあう関係を築いている。</p>		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	利用者一人ひとりの思いや希望をセンター方式を利用して把握し、散歩や買い物、外食や畑作業などの支援が行われている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画は作成されており、利用者、家族の希望や医師・看護師からの助言・情報や職員からの意見を取り入れ具体的なものとなっている。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画書に記載している個別の期間を目安に評価を行い見直しが行われている。また、状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	本人や家族の状況、その時々要望に応じて、散歩や買い物、外食やドライブ、通院など柔軟に支援を行っている。また、医師の往診や看護師の定期的な訪問など医療面でも支援されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	内科医、看護師や歯科医などの往診で気軽に相談できる医師が確保されている。また、利用者、家族の希望や要望に応じて、状態変化などについても適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、看護師・医師と連携して利用者・家族と話し合いながら慎重に対応するよう職員間で共有されている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録等の個人情報の扱いについては、個人情報保護法に配慮した取り組みが行われている。また、利用者一人ひとりの誇りやプライバシーを尊重した対応が行われている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	朝・晩と足浴でコミュニケーションをとりながら一人ひとりの希望や思いを把握している。また、散歩や買物、畑作業、外食、ドライブなど気晴らしの支援も行われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、職員と利用者が本人の希望や力量に応じて一緒になって楽しんで食事の準備や食材の買出しを行っている。また、献立も希望に応じて対応ができるように工夫している。また、10時と3時のおやつは牛乳とジュースを選択できるようになっている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日を決めずに利用者の希望や思いを大切に対応している。また、週2~3日を目安にゆっくりとくつろいで入浴が楽しめるように支援されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者一人ひとりのペースを大切にして、散歩や買い物、ホーム主催の行事や町内会のラジオ体操参加、畑作業など本人の希望や思いに沿って支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	食材の買出しや散歩、パークゴルフや公園での散歩、ドライブ、居酒屋やラーメン屋、レストランなどでの外食で気分転換ができるように戸外に出かけられるように支援がされている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は、鍵をかけていない。また、身体拘束委員会で職員にその弊害が共有されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>火災や水害等の災害時に、全ての職員が速やかに対応ができるように実技を伴う火災避難訓練や救急救命訓練が実施されている。また、消防団との連携や資格を持った防火管理者が配置されている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、具体的な水分・食事摂取量が把握されている。また、栄養補給ゼリーなど利用者の状態変化に応じた工夫が行われている。</p>		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者にとって気になる臭いや音の大きさ、光の強さは感じられない。また、共用空間には観葉植物も多く配置されていたり、居間の椅子やテーブル、ソファでは一人になったり、談笑や横になれるスペースが確保されている。東屋では、外気浴を楽しんだり景色を楽しめるように工夫がされている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、仏壇も持ち込まれ命日にはお寺の住職のお参りもある。また、使い慣れた家具や手作りの作品、家族の写真などが飾られて本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。